

風が草木にささやいた

池部 良

☆ 出版記録



- ・著作者 池部 良
- ・発行者 田尻 勉
- ・発行所 幻戯書房
東京都千代田区神田小川町 3-12
- ・連絡先 TEL 03-5283-3934 / FAX 03-5283-3935
- ・初 版 2013年6月9日
- ・定 価 (本体 2,200円+税)

☆ 著者略歴

- 1918年 2月11日東京都大森に生まれる。
- 1941年 立教大学英文科卒業後、東宝映画に入社して「闘魚」で映画デビュー。
- 1942年 陸軍に応召され、南方のハルマヘラ島で終戦を迎える。復員後は文芸映画を中心に活躍。「青い山脈」、「現代人」、「雪国」、「暗夜行路」、「乾いた花」、「昭和残侠传」をはじめ出演作は200本近くに及ぶ。
- 1991年 「そよ風ときにつむじ風」で日本文芸大賞受賞、エッセイストとしても高い評価を得る。
- 2010年 10月8日の逝去直前まで筆を執り続け、『風が吹いたら』『そして夢にはじまった』『ハルマヘラ・メモリー』『人魚のニキビ』など多数の著書を遺した。
幻戯書房刊行のエッセイ集には『天井はまぐり鮨ぎょうざ』『江戸っ子の倅』がある。

☆ 目 次

- I 腹が空っては戦が出来ぬ 安部徹君の訓示
- 執念 鶴田浩二君から教わったこと
- かんちゃん 負けず嫌いの佐田啓二君
- 大先輩 長谷川一夫さんのパット
- 算術 芦田紳介君の野武士的容貌
- うっひっひ ハナ肇君の一生一度のお願い
- キャディさんとずんだ豆 阿部豊監督の手解き
- 右でない方の手 渡辺邦男監督の杖
- 諸行無常 岡本喜八監督の包帯
- ああ砧ゴルフ場 藤本真澄さんと小杉義男さん
- 道中四人 無口な川上哲治監督
- 草踏會にて 市村羽左衛門さんと尾上梅幸さんの問答
- 自業自得です 藤山一郎先輩の映画
- 女性ゴルファー接し難し 樋口久子君とチョコレート
- 我慢あるのみ ローラ・ポーの思い出
- コロコロコロ 山本富士子さんの笑い声

II 練習だけの十年間

ドンマイドンマイ
ライカ先輩のおせっかい
大高君の大笑い
南海の勇者
不思議な同窓会
鳩小屋のふたり

III バーディクラブにて

友情を失う日
アメリカのクラブ、アメリカの車
雨に泣く
どうしましょ、どうしましょ
香港の菅笠キャディ
アラスカでのゴルフ
オランダのキャッディ
ポルトガルにて
剥がれた半張り革
四番ロッカー
ゴルフ場で食事を作った話
もらい事故
病気持ち
他山の石
夫婦喧嘩
おかしな友人
夢と妄想
西日
お付き合い
教え魔
癩癩玉
心筋何とか
小田原提灯
おやじの血

☆ 本文引用



「 ゴルフと言うスポーツは完璧に近く自己責任に包まれている。
確かに面白いスポーツには違いないが、上手になってやろうと志せば志す
ほど修行僧のような道を歩かなければならない。
そんな道は歩きたくない、
..... 」

—— (腹が空っては戦が出来ぬ) より抜粋 ——

☆ 本書に関して



笑いの連続だ。

私の読書タイムは、帰宅時電車の中。腰かけるや否や本書を取り出し、メガネをかけ、読書体制に入る。又、笑ってしまうのではないかと、その危惧を抱きながら、読みかけの所に有るクリップを外す。そして1ページ戻り、前回読み終えた部分を、少しだけ読み返す。前回の記憶を取り戻す為だ。

ダメだ。笑ってしまう。

向かい側の席に座っている人達が、私を見て不機嫌な顔をしている様に見えて仕方ない。悟られまいとして、無理やり顔を造る。若干開いた口を、さも怒った様に取り繕うのだが、ダメだ。

本書の出版は2013年。著者がお亡くなりになったのは2010年。

著者は生前、ゴルフダイジェスト社発行の(Choice)へ、短編を連載していた。1999年1月号から2010年10月号まで、お亡くなりになる直前まで、75編を書いていたのだ。その中から48編を選んで、本書が作成されている。

著者は有名な俳優。著者の長い役者生活の中でゴルフに関わった人達を、著者の江戸っ子気質からの視点・感想も加えながら、ユーモラスに著者は語っている。日本の社会に戦後、ゴルフが入って来た当時の様子も、手に取る様に理解出来る。

本書の楽しさは、読んで頂く以外に無い。なにか今流行のTVショッピングの語り口の様になってしまう自分が怖い。致し方無い。本書の中で著者は、(親父から受け継いだ江戸っ子気質)と言うフレーズを多用している。ぶっきらぼう、と言いたいのだと思う。

しかし著者の言動は、文章をよく読めば自ずと理解出来るのだが、決して直情的で過激だとは思えない。否、思えないどころか、大変な紳士だった様に想像してしまう。驚く事は文体だ。生意気な事を敢えて述べさせて頂くならば、著者は作家としての文体を確立している。まさしく江戸っ子調の文体が、そこかしこ闊歩しており、これぞ作家だ、と太鼓判を押したくなる。

読書後とても爽やかな気分になる一冊、そして是非一読して頂きたい一冊だ。

なお本書は好評につき、2022年10月24日時点で販売中との事。

2022年10月24日

文__大野良夫

© Yoshio Oono

日本ゴルフジャーナリスト協会 会員